

藍住の筋ジス患者・鈴木さん

自宅に防災シェルター

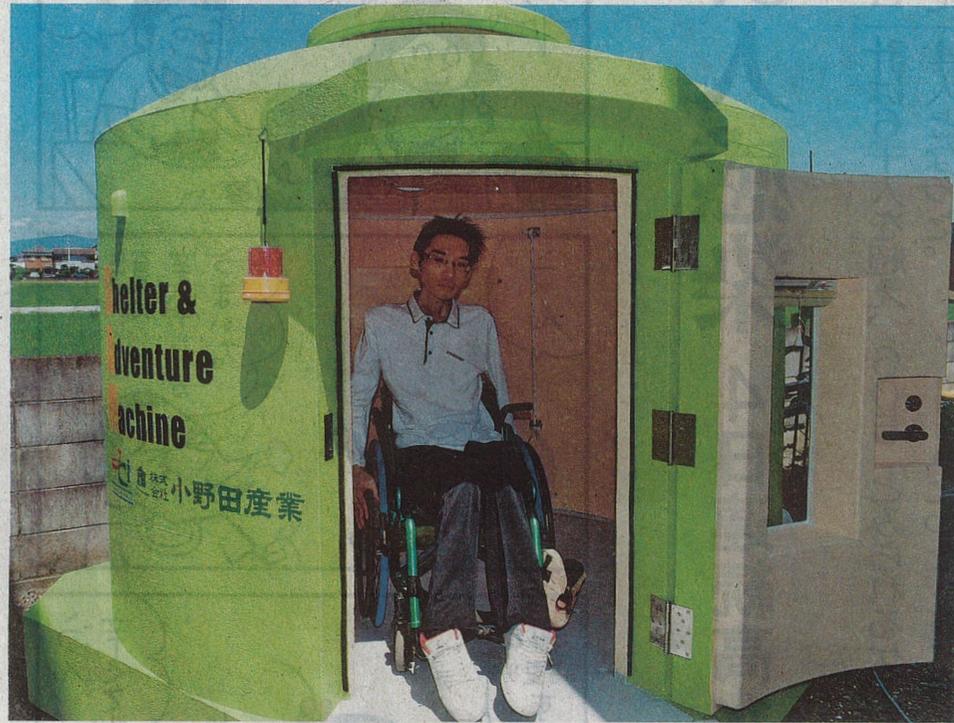
勤務先のNPO無償貸与

津波や洪水時に避難して身を守る家庭用シェルターが22日、筋ジストロフィー患者の鈴木雅彦さん(38)＝藍住町勝瑞、NPO法人職員＝宅の敷地に設けられた。勤務先のNPO法人が鈴木さんに無償貸与した。

シェルター「SAM(サム)」は縦、横、高さ各約2・2メートル、重さ約250キログラム。住宅メーカーの小野田産業(静岡県)が開発した。難燃性の発泡スチロール製で、水に浮きやすく断熱性にも優れている。車椅子で暮らす鈴木さんに合わせ、壁面に折り畳み式の木製テーブルを取り付けている。災害発生時だけでなく、日常から仕事部屋などとして使う。

鈴木さんの勤務先で、障害者の自立支援に取り組むNPO法人「JCII」の猪子幸理事長は「多くの人に知ってもらいためのテストケース。災害弱者の多様な特性に応じられるよう、アイデアな」

(榎本佳純)



鈴木さん宅に設置されたシェルター―藍住町勝瑞

徳島新聞 掲載

令和2年6月28日



浮力や姿勢保持性能などを確かめた津波シェルターの実験＝30日、静岡市清水区

小野田産業
静岡市清水区の建設
業小野田産業（小野田
良作社長）は30日、津
波シェルター「SAM
+L」で開き、関係者や報道

津波シェルターで実験 浮力、緩衝性アピール

LIFE（サムライ
フ）を使った実験を
機関に基本性能の高さ
をアピールした。

興津沖の海上まで8
人を乗せたサムライフ
をえい航し、浮力や姿
勢保持性能を披露。見
学者に室内への浸水は
なく、安定した姿勢を
保つ様子を示した。ド
ックでは、重さ約90
0キの軽自動車をも10
の高さから落として緩
衝性を検証。ガスバー
ナーで炎を当てて耐燃
性も確かめた。

サムライフは同社が
手掛ける津波シェルタ
ーの第3弾。難燃性発
泡スチロール製で、表

面を衝撃に強いコーテ
ィング材のポリウエア
で加工する。長さ3・
3メートル、幅3・2メ
ートル、高さ2・2メ
ートル。本体重量
約550キ。小野田社
長は「津波対策だけで
なく、各地で予想を越
える規模で起きている
台風や洪水の被害への
備えにも役立つ」と紹
介した。
(清水支局・栗原広樹)

約900kgの
軽自動車
落下実験



海上浮上
実験

静岡新聞

令和元年11月2日 掲載